簿記論・財務諸表論　カリキュラム

この講座の特徴　**移動時間でも見られる縦型講義**　講義はSectionごとに短く区切り、復習も回しやすく。移動中はスマホでインプット、机では問題集で演習します。

はじめに 学習相談 Meet／メール ▶ STEP 0 電卓講座 ▶ STEP 1 インプット 143本 ⇄ STEP 1 アウトプット 39本 ▶ STEP 2 過去問対策 第3問対策 5本 ▶ STEP 3 ラストスパート模試 第1〜第3予想 ▶ STEP 4 とおる模試 最後の総仕上げ

並行　財務諸表論 理論講義（穂坂先生）　インプット＆アウトプット講義

はじめに

学習相談（Googleミート または メール相談）

あなたの現状を分析して、勉強を進めるサイクル（いつ講義を見て、いつ演習・復習するか）を一緒に決めましょう。相談後は、分析結果と進め方をまとめたレポートを必ずお渡しします。

別枠　もう一度、前を向くための動画　（順番に関係なく、いつでも見られます）　**LINE**　質問はすべてLINEで受け付けます（原則1日以内に返信）

基礎編　講義＋問題集解説　95本

右の数字＝講義本数＋問題集解説1本／★＝1級経験者も必須のSectionあり

G	ガイダンス1・2／問題集ガイダンス	3
Ch1	簿記一巡 ★	6+1
Ch2	現金預金 ★	3+1
Ch3	金銭債権 ★	5+1
Ch4	棚卸資産 I ★	6+1
Ch5	営業費 ★	3+1
Ch6	有形固定資産 ★	8+1
Ch7	無形固定資産 I ★	3+1
Ch8	金融商品 I ★	5+1
Ch9	法人税等・租税公課 ★	3+1
Ch10	税効果会計 ★	7+1
Ch11	消費税 ★	2+1
Ch12	リース会計 I ★	1+1
Ch13	減損会計	3+1
Ch14	資産除去債務	1+1
Ch15	退職給付会計 I	6+1
Ch16	引当金	1+1
Ch17	社債	2+1
Ch18	純資産会計 I ★	6+1
Ch19	繰延資産	2+1

応用編　講義＋問題集解説　87本

右の数字＝講義本数＋問題集解説1本／★＝1級経験者も必須のSectionあり

Ch1	外貨換算会計	3+1
Ch2	金融商品 II	4+1
Ch3	棚卸資産 II ★	4+1
Ch4	特殊商品売買 ★	6+1
Ch5	収益認識	1+1
Ch6	退職給付会計 II ★	2+1
Ch7	本支店会計 ★	5+1
Ch8	商的工業簿記 ★	5+1
Ch9	建設業会計 ★	2+1
Ch10	無形固定資産 II ★	2+1
Ch11	過年度遡及会計	1+1
Ch12	リース会計 II ★	1+1
Ch13	純資産会計 II ★	3+1
Ch14	組織再編	6+1
Ch15	連結会計	10+1
Ch16	キャッシュ・フロー会計	4+1
Ch17	デリバティブ	2+1
Ch18	帳簿組織 ★	4+1
Ch19	伝票会計 ★	3+1

電卓講座

インプットの前に受講

進め方（STEP 1）

① Chapterの講義を見る
② 同じChapterの問題集解説を見る
③ 次のChapterへ

雑談　4本

1	基礎編 Ch10の前
2	応用編に入る前
3	過去問対策講座の前
4	ラストスパート模試の前

過去問対策（第3問対策）　5本

G	ガイダンス	1
簿記論	第74回・第75回	2
財表	第73回・第74回	2

ラストスパート模試　6回

第1予想	簿記論・財表	2
第2予想	簿記論・財表	2
第3予想	簿記論・財表	2
とおる	とおる模試（最後）	

理論講義（穂坂先生）

インプット＆アウトプット講義

講義を、すべて見る必要はありません

成績が一番伸びるのは、自分で問題を解いている自学自習の時間です。講義は、その時間を短くするためにあります。分かるところは飛ばして、つまずいたところだけ講義に戻ってきてください。
みなさんはそれぞれの目標に向かって、仕事や学業と両立しながら机に向かっています。思うように進まない日があっても大丈夫です。今日解いた1問は、確実に合格に近づいています。合格のその日まで、全力で伴走します。

佐藤慶斗

日商簿記1級を学習した方へ

問題集を先に解き、目標時間内に解けたSectionは講義を飛ばしてOKです。ただし**「必須」マークのSection**（簿記一巡、小口現金、電子記録債権、原価率・他勘定振替高、ソフトウェア、研究開発費、リース会計、退職給付会計 II、本支店会計、株式の無償交付、消費税、法人税等、表示・注記、特殊商品売買、商的工業簿記、帳簿組織、伝票会計など）は必ず視聴してください。理論講義はすべて受講してください。

STEP 1　インプット ⇄ アウトプット　基礎編

インプット講義は縦型動画（自宅で見るならスマホスタンドがおすすめ）。各Chapterの講義を見たら、すぐに同じChapterの問題集解説へ。ピンクの行＝問題集解説講義／「必須」＝日商1級学習経験者も必ず視聴

はじめに　学習相談

- ☐ 相談　Googleミート または メール相談（現状を分析し、進め方を一緒に決めます）
- ☐ レポ　分析レポートの受け取り（相談後に必ずお渡しします）

別枠（いつでも）

- ☐ 別枠　もう一度、前を向くための動画

STEP 0　電卓講座

- ☐ 電卓　電卓講座（インプット講義の前に受講）

ガイダンス

- ☐ G1　ガイダンス1
- ☐ G2　ガイダンス2
- ☐ 問G　問題集ガイダンス

Chapter 1　簿記一巡

- ☐ 1-1　Section 1　簿記の手続きの流れ　必須
- ☐ 1-2　Section 2　営業手続　必須
- ☐ 1-3　Section 3　決算手続　必須
- ☐ 1-4　Section 4　貸借対照表の作成　必須
- ☐ 1-5　Section 5　損益計算書の作成　必須
- ☐ 1-6　Section 6　開始手続　必須
- ☐ 基1　問題集解説　Chapter 1

Chapter 2　現金預金

- ☐ 2-1　Section 1　現金
- ☐ 2-2　Section 2　預金
- ☐ 2-3　Section 3　小口現金　必須
- ☐ 基2　問題集解説　Chapter 2

Chapter 3　金銭債権

- ☐ 3-1　Section 1　金銭債権
- ☐ 3-2　Section 2　電子記録債権と保証債務　必須
- ☐ 3-3　Section 3　関係会社に対する金銭債権・金銭債務　必須
- ☐ 3-4　Section 4　割引現在価値の計算
- ☐ 3-5　Section 5　金銭債権の評価（貸倒引当金）
- ☐ 基3　問題集解説　Chapter 3

Chapter 4　棚卸資産 I

- ☐ 4-1　Section 1　棚卸資産の範囲と取得原価の決定
- ☐ 4-2　Section 2　値引き・返品などの処理
- ☐ 4-3　Section 3　棚卸資産の評価方法
- ☐ 4-4　Section 4　期末商品の評価
- ☐ 4-5　Section 5　原価率などの算定　必須
- ☐ 4-6　Section 6　他勘定振替高　必須
- ☐ 基4　問題集解説　Chapter 4

Chapter 5　営業費

- ☐ 5-1　Section 1　営業費の概要
- ☐ 5-2　Section 2　人件費
- ☐ 5-3　Section 3　諸経費（消耗品費、通信費等）　必須
- ☐ 基5　問題集解説　Chapter 5

Chapter 6　有形固定資産

- ☐ 6-1　Section 1　有形固定資産の基礎知識
- ☐ 6-2　Section 2　取得原価の決定
- ☐ 6-3　Section 3　減価償却の手続き
- ☐ 6-4　Section 4　会計上の見積りの変更、会計方針の変更
- ☐ 6-5　Section 5　売却・買換え・除却・滅失
- ☐ 6-6　Section 6　圧縮記帳
- ☐ 6-7　Section 7　資本的支出と収益的支出、修繕引当金
- ☐ 6-8　Section 8　賃貸等不動産　必須
- ☐ 基6　問題集解説　Chapter 6

Chapter 7　無形固定資産 I

- ☐ 7-1　Section 1　無形固定資産の会計処理
- ☐ 7-2　Section 2　のれん
- ☐ 7-3　Section 3　ソフトウェアの会計処理　必須
- ☐ 基7　問題集解説　Chapter 7

Chapter 8　金融商品 I

- ☐ 8-1　Section 1　有価証券の基礎知識
- ☐ 8-2　Section 2　有価証券の取得・売却
- ☐ 8-3　Section 3　有価証券の期末評価
- ☐ 8-4　Section 4　有価証券の減損処理
- ☐ 8-5　Section 5　有価証券の認識基準　必須
- ☐ 基8　問題集解説　Chapter 8

Chapter 9　法人税等・租税公課

- [ ] 9-1　Section 1　法人税等　必須
- [ ] 9-2　Section 2　事業税と外形標準課税制度　必須
- [ ] 9-3　Section 3　その他の税金（租税公課）　必須
- [ ] 基9　問題集解説　Chapter 9

雑談1

- [ ] 雑談1　雑談1（基礎編の折り返し地点で）

Chapter 10　税効果会計

- [ ] 10-1　Section 1　税効果会計の概要
- [ ] 10-2　Section 2　会計上と税務上の差異
- [ ] 10-3　Section 3　将来減算一時差異
- [ ] 10-4　Section 4　将来加算一時差異
- [ ] 10-5　Section 5　その他有価証券の税効果会計
- [ ] 10-6　Section 6　税効果会計の出題　必須
- [ ] 10-7　Section 7　表示と注記事項　必須
- [ ] 基10　問題集解説　Chapter 10

Chapter 11　消費税

- [ ] 11-1　Section 1　消費税とは　必須
- [ ] 11-2　Section 2　消費税の会計処理　必須
- [ ] 基11　問題集解説　Chapter 11

Chapter 12　リース会計 I

- [ ] 12-1　Section 1　リース会計 I　必須
- [ ] 基12　問題集解説　Chapter 12

Chapter 13　減損会計

- [ ] 13-1　Section 1　減損会計の必要性と基本的考え方
- [ ] 13-2　Section 2　減損会計の流れと会計処理方法
- [ ] 13-3　Section 3　資産のグルーピング
- [ ] 基13　問題集解説　Chapter 13

Chapter 14　資産除去債務

- [ ] 14-1　Section 1　資産除去債務
- [ ] 基14　問題集解説　Chapter 14

Chapter 15　退職給付会計 I

- [ ] 15-1　Section 1　退職給付会計の概要と基礎知識
- [ ] 15-2　Section 2　退職給付会計の各項目
- [ ] 15-3　Section 3　退職給付にかかる会計処理
- [ ] 15-4　Section 4　勘定連絡図
- [ ] 15-5　Section 5　差異の会計処理
- [ ] 15-6　Section 6　その他の論点
- [ ] 基15　問題集解説　Chapter 15

Chapter 16　引当金

- [ ] 16-1　Section 1　引当金
- [ ] 基16　問題集解説　Chapter 16

Chapter 17　社債

- [ ] 17-1　Section 1　社債の一連の処理
- [ ] 17-2　Section 2　社債の買入償還
- [ ] 基17　問題集解説　Chapter 17

Chapter 18　純資産会計 I

- [ ] 18-1　Section 1　純資産会計の基礎知識
- [ ] 18-2　Section 2　株主資本項目の変動
- [ ] 18-3　Section 3　自己株式
- [ ] 18-4　Section 4　新株予約権
- [ ] 18-5　Section 5　新株予約権付社債
- [ ] 18-6　Section 6　純資産に関する注記　必須
- [ ] 基18　問題集解説　Chapter 18

Chapter 19　繰延資産

- [ ] 19-1　Section 1　繰延資産の概要
- [ ] 19-2　Section 2　繰延資産の会計処理
- [ ] 基19　問題集解説　Chapter 19

基礎編、おつかれさまでした

基礎編の問題集で、A・Bランクの問題をきちんと解けるようになっていれば、本試験でもある程度の点数が取れる力がついています。ここで学んだ論点は、本試験で毎年のように問われる土台です。

まだ不安なChapterがあっても大丈夫です。A・Bランクの問題に戻って、目標時間内に解けるまで繰り返してください。その積み重ねが、そのまま本番の得点になります。

佐藤慶斗

STEP 1　インプット ⇄ アウトプット　応用編

インプット講義は縦型動画（自宅で見るならスマホスタンドがおすすめ）。各Chapterの講義を見たら、すぐに同じChapterの問題集解説へ。ピンクの行＝問題集解説講義／「必須」＝日商1級学習経験者も必ず視聴

雑談2

- ☐ 雑談2　雑談2（応用編に入る前に）

Chapter 1　外貨換算会計

- ☐ 1-1　Section 1　外貨建取引の概要
- ☐ 1-2　Section 2　為替予約
- ☐ 1-3　Section 3　外貨建有価証券の評価
- ☐ 応1　問題集解説　Chapter 1

Chapter 2　金融商品 II

- ☐ 2-1　Section 1　保有目的区分の変更
- ☐ 2-2　Section 2　株式配当金の処理
- ☐ 2-3　Section 3　新株予約権の取得者側の処理
- ☐ 2-4　Section 4　その他の金融商品
- ☐ 応2　問題集解説　Chapter 2

Chapter 3　棚卸資産 II

- ☐ 3-1　Section 1　商品売買の処理方法　必須
- ☐ 3-2　Section 2　仕入・売上の計上基準
- ☐ 3-3　Section 3　仕入諸掛
- ☐ 3-4　Section 4　売価還元法
- ☐ 応3　問題集解説　Chapter 3

Chapter 4　特殊商品売買

- ☐ 4-1　Section 1　特殊商品売買の全体像　必須
- ☐ 4-2　Section 2　割賦販売　必須
- ☐ 4-3　Section 3　試用販売　必須
- ☐ 4-4　Section 4　委託販売　必須
- ☐ 4-5　Section 5　受託販売　必須
- ☐ 4-6　Section 6　未着品売買　必須
- ☐ 応4　問題集解説　Chapter 4

Chapter 5　収益認識

- ☐ 5-1　Section 1　収益認識の基本的処理
- ☐ 応5　問題集解説　Chapter 5

Chapter 6　退職給付会計 II

- ☐ 6-1　Section 1　退職給付引当金と前払年金費用　必須
- ☐ 6-2　Section 2　早期退職割増金　必須
- ☐ 応6　問題集解説　Chapter 6

Chapter 7　本支店会計

- ☐ 7-1　Section 1　本支店会計の基礎知識　必須
- ☐ 7-2　Section 2　期中取引の会計処理　必須
- ☐ 7-3　Section 3　本支店の帳簿の締切り　必須
- ☐ 7-4　Section 4　本支店合併財務諸表の作成　必須
- ☐ 7-5　Section 5　在外支店　必須
- ☐ 応7　問題集解説　Chapter 7

Chapter 8　商的工業簿記

- ☐ 8-1　Section 1　商的工業簿記の概要　必須
- ☐ 8-2　Section 2　当期総製造費用の計算　必須
- ☐ 8-3　Section 3　当期製品製造原価の計算　必須
- ☐ 8-4　Section 4　売上原価の計算　必須
- ☐ 8-5　Section 5　製造原価報告書・注記　必須
- ☐ 応8　問題集解説　Chapter 8

Chapter 9　建設業会計

- ☐ 9-1　Section 1　建設業会計における認識基準　必須
- ☐ 9-2　Section 2　建設業会計の処理　必須
- ☐ 応9　問題集解説　Chapter 9

Chapter 10　無形固定資産 II

- ☐ 10-1　Section 1　研究開発費の会計処理　必須
- ☐ 10-2　Section 2　ソフトウェアの会計処理2　必須
- ☐ 応10　問題集解説　Chapter 10

Chapter 11　過年度遡及会計

- ☐ 11-1　Section 1　会計上の変更・誤謬の訂正
- ☐ 応11　問題集解説　Chapter 11

Chapter 12　リース会計 II

- ☐ 12-1　Section 1　セール・アンド・リースバック取引　必須
- ☐ 応12　問題集解説　Chapter 12

Chapter 13　純資産会計 II

- ☐ 13-1　Section 1　ストック・オプション
- ☐ 13-2　Section 2　株式の無償交付（株式引受権）　必須
- ☐ 13-3　Section 3　分配可能額の計算　必須
- ☐ 応13　問題集解説　Chapter 13

Chapter 14　組織再編

- [ ] 14-1　Section 1　企業結合の基本的な処理
- [ ] 14-2　Section 2　合併
- [ ] 14-3　Section 3　事業分離
- [ ] 14-4　Section 4　交付株式数の決定
- [ ] 14-5　Section 5　株式交換
- [ ] 14-6　Section 6　のれんの減損処理
- [ ] **応14**　問題集解説　Chapter 14

Chapter 15　連結会計

- [ ] 15-1　Section 1　連結会計の基礎知識
- [ ] 15-2　Section 2　資本連結の基本的処理
- [ ] 15-3　Section 3　のれんの処理
- [ ] 15-4　Section 4　部分所有子会社の処理
- [ ] 15-5　Section 5　支配獲得日後の処理
- [ ] 15-6　Section 6　債権・債務の相殺消去
- [ ] 15-7　Section 7　商品売買等の相殺消去
- [ ] 15-8　Section 8　持分法の基礎知識
- [ ] 15-9　Section 9　持分法の処理
- [ ] 15-10　Section 10　包括利益と包括利益計算書
- [ ] **応15**　問題集解説　Chapter 15

Chapter 16　キャッシュ・フロー会計

- [ ] 16-1　Section 1　キャッシュ・フロー計算書の概要
- [ ] 16-2　Section 2　営業活動によるキャッシュ・フロー
- [ ] 16-3　Section 3　投資活動・財務活動によるキャッシュ・フロー
- [ ] 16-4　Section 4　その他の論点
- [ ] **応16**　問題集解説　Chapter 16

Chapter 17　デリバティブ

- [ ] 17-1　Section 1　デリバティブ
- [ ] 17-2　Section 2　ヘッジ会計
- [ ] **応17**　問題集解説　Chapter 17

Chapter 18　帳簿組織

- [ ] 18-1　Section 1　帳簿の種類と単一仕訳帳制度　必須
- [ ] 18-2　Section 2　特殊仕訳帳制度　必須
- [ ] 18-3　Section 3　二重仕訳と二重転記の回避　必須
- [ ] 18-4　Section 4　一部現金・一部当座取引の記帳　必須
- [ ] **応18**　問題集解説　Chapter 18

Chapter 19　伝票会計

- [ ] 19-1　Section 1　伝票会計の概要　必須
- [ ] 19-2　Section 2　3伝票制　必須
- [ ] 19-3　Section 3　5伝票制　必須
- [ ] **応19**　問題集解説　Chapter 19

応用編、ここまで本当によく頑張りました

応用編には、第1問・第2問の大きな問題として出題される可能性が高い論点と、知識として押さえておきたい応用的な論点が詰まっています。
すべてを完璧にする必要はありません。A・Bランクの問題を確実に押さえておけば、本試験で合格点を取る力は十分に身につきます。ここが合否を分けるところです。もうひと踏ん張り、一緒に仕上げていきましょう。

佐藤慶斗

STEP 2　過去問対策講座（計算編・第3問対策）

本試験の形式に慣れることと、出題パターンを身につけることを一番の目的にしています。そのため、あえて簿記論・財務諸表論とも2回分ずつにしぼりました。

雑談3

- [ ] 雑談3　雑談3（過去問対策講座に入る前に）

ガイダンス

- [ ] G　過去問対策講座（計算編・第3問対策）ガイダンス

簿記論

- [ ] 簿74　簿記論　第74回
- [ ] 簿75　簿記論　第75回

財務諸表論

- [ ] 財73　財務諸表論　第73回
- [ ] 財74　財務諸表論　第74回

STEP 3　ラストスパート模試 ／ STEP 4　とおる模試

ラストスパート模試は、本番と同じ時間・形式で解くことで、今の自分のレベルを確かめ、本試験までに何をどう仕上げていけばいいかを練習できます。最後の総仕上げとして、本番前にとおる模試を受験します。

雑談4

- [ ] 雑談4　雑談4（ラストスパート模試の前に）

ラストスパート模試　第1予想

- [ ] 簿1予　簿記論
- [ ] 財1予　財務諸表論

ラストスパート模試　第2予想

- [ ] 簿2予　簿記論
- [ ] 財2予　財務諸表論

ラストスパート模試　第3予想

- [ ] 簿3予　簿記論
- [ ] 財3予　財務諸表論

STEP 4　とおる模試（最後の総仕上げ）

- [ ] と簿　簿記論
- [ ] と財　財務諸表論

並行　財務諸表論 理論講義（担当：穂坂先生）

計算の講義と並行して受講します。

理論講義

- [ ] 理論　財務諸表論 理論講義（インプット＆アウトプット講義）

このカリキュラムを最後までやり切れば、必ず合格できます

このカリキュラムは、合格に必要なことだけを無駄なく積み上げられるように作りました。インプット、問題集、過去問、ラストスパート模試、とおる模試。ここまでやり切ったとき、みなさんには合格する力が必ず身についています。

ただし、合格するためには、学んだ知識を本番で確実に「吐き出せる」状態にしておく必要があります。講義を見て分かったつもりになるだけでは、点数にはなりません。自分の手で問題を解く自学自習の時間こそが、知識を得点に変えてくれます。

そしてもう一つ、何より大切にしてほしいのが「休むこと」です。休まずに走り続けると、心のほうが先に疲れてしまいます。休むことは、諦めることではありません。週に一度は勉強しない日をつくるなど、休む時間もあらかじめ計画に入れて、最後まで走り切れるペースで進めてください。

合格のその日まで、一緒に頑張っていきましょう。

佐藤慶斗

Bランクを何%できれば、本試験で何点取れる？

Aランクを100%解ける状態にしたうえで、Bランクの習熟度ごとの得点の目安と、そこまでの回し方です。

100点を目指す試験ではない
税理士試験は、満点を取る試験ではありません。合格ラインを確実に越えれば合格です。

完璧主義は絶対にダメ
全部を完璧にしようとすると、時間切れで終わります。やらないことを決めた人が受かります。

目標は少し高めに
合格ラインの60点ではなく、70点を目標に。Bランクも「80%以上」を目指せば、自然と本来の目標に届きます。

習熟度（Aランクは100%が前提）	簿記論（100点）	財表 計算（50点）	財表 理論（50点）	財務諸表論（100点）
A 100%＋B 0%	約50点	約27点	約25点	約52点
A 100%＋B 25%	約55点	約30点	約26点	約56点
A 100%＋B 50%	約60点 合格ライン	約33点	約27点	約60点 合格ライン
A 100%＋B 75%	約63点 合格ライン	約36点	約30点	約66点 合格ライン
A 100%＋B 100%	約66点 合格ライン	約38点	約33点	約71点 合格ライン
＋過去問・模試で仕上げ	70点以上	40点以上	33点以上	70点以上

ポイント：Aランクは100%が大前提。そのうえで、Bランクを**50%**できるようになると、簿記論も財務諸表論も合格ラインの60点に届きます。Bランクを75%以上にすれば、本番で多少ミスをしても合格ラインを守れる「余裕」が生まれます。

なぜ100%なのに100点にならない？　表の「%」は、問題集のA・Bランクがどれだけ解けるかです。本試験には初めて見る論点や、2時間という時間の制約もあります。表の点数は、A・Bランクで身につけた理解を本試験で発揮したときの「結果」の目安です。満点は狙わなくて大丈夫。理解が積み上がれば、点数は後からついてきます。

簿記論・財務諸表論の配点



財務諸表論の理論は、穂坂先生の理論講義（インプット＆アウトプット講義）で、50点中33点前後（3分の2）を目指します。計算の約38点と合わせて、70点前後が見えてきます。

Cランクは、基本的に無視でOK

Cランクは、財務諸表論の理論の理解に役立つこともあります。ただ、かける時間に対して上がる点はわずかです。A・Bランクだけで合格ラインに届くので、基本的には無視してOK。余裕があるときに、読み物として目を通す程度で十分です。

教科書は通して5周。間違えたSectionは何度でも開く

1周目	講義と一緒に、じっくり理解する
2周目	問題集で間違えたSectionを中心に読み直す
3〜4周目	読むスピードを上げて、全体のつながりをつかむ
5周目	直前期に、苦手なところだけを確認する

問題集を解くときは、教科書を横に置いて、解き方の根拠をその場で確認。土台を確実に固めます。

問題集も5周。できない問題をなくしていく

1周目	解答を見ながらでOK。A・Bランクの解き方の流れを覚える
2周目	解答を見ながらでOK。今度は自分の手を動かして書いてみる
3周目	ここから自力。目標時間内に解けたら○
4周目	△と×だけ解き直す。○の問題はもう解かない
5周目	まだ解けない問題だけ。○が3つそろえば完成

「演習が大事」の本当の意味

合格した人は、よく「演習が大事」と言います。でもそれは、演習だけをやればいいという意味ではありません。演習は、教科書と講義で積み上げた「インプット」という土台に、肉付けしていく作業です。土台がしっかりしているから、演習で解ける問題が増えていく。だからこの講座では、講義で理解を固め、教科書で土台を作り、問題集でその土台に肉付けしていきます。問題集を解きながら、分からないところはすぐ教科書に戻って確認する。この往復が、崩れない土台を作ります。

※ 得点は、過去の本試験の出題傾向をもとにした目安です。年度の難易度や当日の出来によって変わります。合格ラインは例年の目安として60点としています。